

第12期 日韓理工系学部予備教育コース

村上京子

第12期日韓理工系学部予備教育コースは、平成23年10月7日から24年3月2日までの6か月（実質18週）間、7名の学生を対象に開講された。このコースは、工学部入学後の勉学や生活に支障のないよう、日本語運用および専門基礎能力を養成することを目的に行われる。日本語に関しては、日常生活に必要な会話練習のほか、科学読み物を読む、レポートを書く、講義形式のまとまりのある話を聴く等の練習を行う。また、教養科目「留学生と日本—異文化をとおしての日本理解—」や「日本事情」の授業を通じて日本文化に対する理解を深めることも目標とする。専門基礎教育に関しては、工学部教員を中心に物理・化学・数学に関して授業が行われた。

日程

- 10月7日(金) 開講式
 10月11日(火) 日本語オリエンテーション・日本語診断試験
 10月12日(水) 授業開始(工学部5号館2階 229号室)
 10月26日(水) バス旅行
 12月23日(木) ~1月10日(月) 冬休み期間
 1月31日(火) 工学部入試のため休講
 2月24日(金) レポート発表会
 2月27日(月) 修了試験
 3月2日(金) 閉講式

科目別時間および担当者・内容

科目	コマ数	時間	担当	内容
日本語	13	420	留学生センター教員・謝金講師7名	会話練習・聴解・文法・読解・作文
専門科目	3	108	工学部教員・謝金講師3名	物理・化学・数学
日本事情	1	36	留学生センター教員・謝金講師1名	ビデオ・新聞等を使った日本事情
教養科目	1	30	留学生センター教員	日本人学生との合同クラス

時間割

	1限	2限	3限	4限
	8:45-10:15	10:30-12:00	13:00-14:30	14:45-16:15
1月16日 月	作文	教養科目 (留学生と日本)	専門科目	聴解
担当	村上			李賢珠
1月17日 火	会話	漢字・語彙	専門科目	聴解
担当	許	許		国沢
1月18日 水	会話	OL 科学技術 語彙	聴解	応用会話
担当	入江		片桐	片桐
1月19日 木	文法	読解	専門科目	
担当	李	宮島		
1月20日 金	日本事情	会話	OL 作文	OL 聴解
担当	入江	田中	村上	石崎

OL: オンライン・コースの略

基本テキスト

- 会話：「現代日本語コース中級Ⅰ，Ⅱ」
 名古屋大学出版会
 聴解：「現代日本語コース中級 Web 聴解Ⅰ，Ⅱ」
 CD. Web 版
 読解：「大学・大学院 留学生の日本語 読解編」
 アルク
 作文：「留学生のための理論的な文章の書き方」
 スリーエーネットワーク
 漢字：「KANJI IN CONTEXT 中・上級学習者のための漢字と語彙」The Japan Times

本コース第12期生の学生受け入れに先立ち、工学部・留学生センター・国際課の3者によるワーキンググループを立ち上げ、協議を行った。時間割の調整、開講期間など取り決め、緊密に連絡を取りながらコースを進めていくことになった。

来日直後、毎年実施している診断テストを行った。その結果、例年に比べ得点の低い学習者が多く、特に漢字の得点が著しく低く、全体としてこれまでの平均

より10%以上低い傾向がみられた。個別に学習者一人一人注意しながらカリキュラムを進め、例年通りの目標設定でコース運営を行った。遅刻や欠席が目立つ学習者もみられたが、修了試験ではなんとか規定内の得点には到達した。しかし、全体的に成績は芳しくない状態であった。

例年と同様、各自が選んだテーマで資料を収集し、レポートを作成した。レポート作成には全員説積極的に取り組み、2月24日に工学部教員も招いて、その発

表会を実施した。レポートのテーマは、「ピエゾ抵抗効果」「使い捨てカイロ」「電気自動車について」「正規分布の原理と使い方」「錠前の仕組み」「量子コンピュータ」「ショッピングモールで使われる科学技術」であった。発表後、工学部教員や日本語担当教員、先輩学生などから多くの質問・意見が出され、各自真剣に答えていた。この経験は学習者にとって今後の勉学に取り組む上での自信にもつながり、貴重な体験となったと考えられる。